

目標達成計画

作成日: 令和3年 2月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とのつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々の協力を一層得られるように、事業所発信の積極的な活動を増やし、地域における社会資源の一つとして定着する。	・小地域活動への積極的協力と参加の継続。 ・地域への情報発信力を向上させるために、新たな地域活動をつくる。 ・地域行事への参加と協力の継続により施設の取り組み及び気軽な来訪可能な体制をアピールし開かれた施設としてを認識していただく。	6ヶ月
2	9 (8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	家族様等に対し、「グループホームでのケアに関して」の理解と協力を継続して得られる。	・契約時にはパンフレット及び資料を活用して、わかりやすく説明させて頂く。 ・入居後も、毎月の広報誌や内部研修の参加案内等により「グループホームでのケア」について情報発信をしていく。	6ヶ月
3	40 (19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみになものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	「食」は入居者の方々にとっても楽しみが多いものなので、「出来る力」「参加意欲」を活かす支援を行っていく。	・食事メニューをご利用者・ご家族様にも見える箇所への掲示。 ・ご家族様への食事メニューの予告情報の発信と運営推進会議にて情報発信していく。 ・行事食や調理レクリエーション機会にて入居者様方の「食」への関心を高める。	6ヶ月
4	49 (22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ終息後には、ご家族の理解と協力を頂きながら、面会・外食・通院同行の機会等も活用し、入居者個々人のご家族等との大切な時間の確保を行う。	・ご家族の協力を得られやすいように、入居者様の状態報告を丁寧に行う。 ・コロナ終息後、可能な範囲での面会・外食・通院同行等をご依頼していき、入居者様とご家族との時間を改めて作っていく。 ・近隣や敷地内等の屋外での活動を季節に応じて行っていく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。